

## 自然共生研究プログラム

委員会の主要意見		主要意見に対する国環研の考え方
現状についての評価・質問など	厳選された研究テーマにじっくり取り組みながら、社会経済要因も考慮した社会変革が求められるという新しい視点を取り入れられている。	研究テーマや成果についてご評価いただきありがとうございます。野生生物感染症の研究拠点構築や鳥獣管理の評価手法の開発などを引き続き進めます。
	野生生物感染症に関する研究拠点を立ち上げようとしていることは、高く評価できる。	
	鳥獣の数や行動に関する科学的データや方法論が蓄積・開発されつつあるのは、鳥獣管理の政策・計画の根拠として重要であり、社会的課題に応えるものである。	
	太陽光パネルの導入拡大により絶滅危惧植物のリスクが一貫して高まるという結論を得たことは重要。	
今後への期待など	生物多様性や生態系機能を活用しての問題解決への取り組みは、今後の展開が期待される。	感染症問題や生態系機能の活用はこれからますます重要になると考えており、迅速かつ着実に対応します。
	生態系機能を活用した都市計画や流域・地域管理がますます重要になっており、本研究成果が大いに期待される。	生態系機能の活用は地域資源の活用、防災減災にこれからますます重要になると考えており、迅速かつ着実に対応します。
	行政レベルの広がりに応じて、生物多様性の保全に活用できる、評価・管理の手法の開発が進むことを期待します。	市町村・都道府県・国の異なる行政レベルを超えてデータを集約し、定量的な評価に基づいて管理計画を策定できるような仕組みづくりを目指して研究を進めます。
	まだ全体像が見えていない印象もありますが、最終的にどのように統合していくのか、アウトプット、アウトカムについてとても期待している。	複数のPJにまたがる課題への取組を積極的に進めるとともに、社会的課題の解決に他プログラムと連携しながら取り組みます。